

“わたしのまち”

板橋区

新緑の季節、科学に触れてワクワク体験

板橋区立教育科学館&平和公園で楽しい1日を過ごそう！

身近な日常生活の中での科学をテーマに、体験や実験を通して楽しみながら科学を学ぶことができます。板橋区立教育科学館。さまざまなワークショップやプラネタリウムも人気です。また、近接する板橋区平和公園は、桜の名所としても知られ、これからの季節は木々のみどりがさわやかです。新緑の季節、外出して1日を過ごすのにぴったりのおすすめスポットを紹介します。



親子で楽しめる教育科学館

東武東上線の上板橋駅から徒歩から5分ほど歩いたところにある板橋区立教育科学館は、広く科学に関する知識の普及・啓発等を目的に、科学を楽しみながら体験してもらう場として昭和63年に開設されました。区立小学校の4年生と5年生は、実験や天文の学習をする科学館移動教室として利用しています。地下1階から地上2階建ての館内には、プラネタリウムや科学展示室、実験室や創作室などが並び、また至るところに化石や昆虫標本、植物写真などテーマごとのコーナー展示がされており、館内のどこにいても楽しめるよう工夫されています。

入館料が無料なうえ、科学指導員が



板橋区平和公園には、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現を願うシンボルとして、「平和の灯」モニュメントが設置されている。ここに灯されている火は、広島市平和記念公園内の「平和の灯」と長崎市平和公園内の「誓いの火」とを合わせたもの

科学展示室に常駐しているので気軽に質問することができ、またプラネタリウムでは生解説を行っており、来館者と職員の距離が近いことも魅力になっています。季節に合わせたプログラムを投影するプラネタリウムも人気ですが、実際に体験しながら科学を学べる常設展示も子どもたちに好評で、科学の不思議に歓声や驚きの声があちこちで上がっています。春休みや夏休みなどの学校の長期休み時には、ワークショップなどのイベントが開催され、館内にぎわいます。

宇宙に親しめるプラネタリウム

教育科学館の見所のひとつが、科学

板橋区立教育科学館



板橋区常盤台 4-14-1
アクセス ▶ 東武東上線「上板橋駅」北口より徒歩5分
開館時間 ▶ 9:00~16:30
展示室利用時間 ▶
 平日 13:00~16:30、
 休日 9:00~16:30
 ※開館時間・展示室利用時間ともに板橋区内公立小中学校夏休み期間は17:00まで
休館日 ▶ 月曜日、年末年始
入館料 ▶ 無料

指導員の生解説で聞くプラネタリウムです。
 天文・宇宙に関するトピックを解説する一般向け投影（投影時間約50分・小学校高学年以上を対象）、星空や宇宙の基本的な話をテーマにその謎をわかりやすく解説する「宇宙はじめの一步」（投影時間約40分・小学校3年生以上を対象）、やさしい星空の話や星にちなんだ神話など初心者向けの「ほしぞらであそぼ」（投影時間約30分・幼児から小学校低学年くらいまでを対象）の3つのプログラムが用意されています。

5月のプログラムは、5月1日から31日までの一般向け投影が「火星接近中!」。これは、今年5月31日に火星が地球に最接近することになみ、火星に関する内容を投影します。また、5月29日まで「宇宙はじめの一步」では「はじめての星空観察」が、「ほしぞらであそぼ」では「おとめ座のはなし」の各プログラムが投影されます。
 夏休みや春休み等には特別番組が投影されますが、それ以外にもプラネタリウムを利用した映画会やコンサートも開催されています。



年5回ほど実施されるプラネタリウムコンサートは、星空を見上げながら生演奏を楽しむことのできる、プラネタリウム演出と音楽とのコラボレーションによる取組で、星空の下、素敵なひとときを過ごすことができます。これまで、ジャズや民族音楽、サルサなどさまざまなジャンルの演奏家によるコ

5月28日にはプラネタリウムコンサートが開催される。いろいろな種類の古楽器を用いて音を楽しむコンサートが評判なロバの音楽座による音色と、美しい星空の競演が期待される

星などが見られます。ふだん見慣れた月の姿も、望遠鏡を通して見るとクレターがはつきりとわかるため、子どもたちだけでなく参加する大人からも「すごい!」と感嘆の声が聞かれます。

ンサーが開かれ、来場者からは「星空との共演が素晴らしい!」雰囲気良かった」という声が上がっています。
 5月28日には、古楽器など世界の楽器を使用した「中世・ルネサンス時代の古楽器による音と遊びの世界」が開催されます。
 また、癒しをテーマにしたBGMやアロマの香りとともに星空解説を聞くことのできるヒーリングプラネタリウムも好評で、5月7日には南半球の星空を眺めながらリラックスできるプログラムが実施され、テーマは未定ですが11月と来年2月にも予定されています。
 プラネタリウムでの話のあとで近接する平和公園へ移動し、天文サポーターといっしょに望遠鏡で天体を観測する「星を見る会」も実施しています。どんな星が見えるのかは季節によって異なりますが、晴れていれば月や惑星、二重

科学を楽しみながら体験できる **教育科学館の人気展示物**



ドライビングシミュレーター
 実際の車を使った運転体験。アクセルやハンドルも本物!



リニアモーターカー
 磁石のちからを使って進む。実際に乗ることができる!



地震体験
 3D映像を見ながら、動くイスで地震の揺れを体験。映像が飛び出すので臨場感たっぷり!

子どもが夢中になる科学展示物
 教育科学館には楽しい展示物がたくさんあり、来館者を楽しませてくれます。身近な日常生活の中の科学をテーマに、エネルギー・交通・通信・災害・からだなどテーマ別の30を超える体験型常設展示は、誰でも気軽に楽しく利用できます。
 足踏み発電でジオラマの町が動いた



ワークショップ「化学のパワーで色が変わる!?—Myうちわを作ろう!—」の様子。折り染めをしたあと、化学のちからで模様をつける。完成品を持ち帰れるのも楽しみのひとつ



飛び出す臨場感たつぷりの地震装置で地震の体験ができたり、テレビ画面を使用したクイズでは交通や健康について楽しく学ぶこともできます。

さまざまな科学教室やイベント

教育科学館では、科学・天文・パソコンなどの各種教室も開催されています。4月には、石こうを使って自分の手のレプリカを作る科学教室が開かれ、新学年の記念になると評判でした。また、「大人の科学教室」と題した特別

り、音の速度であるマッハの速度に関する展示では、らせん状のチューブを進む音のスピードを光で見ることができたり、床から出た水蒸気がだんだんうずになって上がっていく、小さな竜巻の様子を観察できたり：科学のちからやはたらきによる、あつと驚く体験がいっぱいです。

また、画面を見ながらハンドル操作する本物の自動車を使ったドライビングシミュレーターや、ななめに傾けて作られた部屋で不思議な感覚を体感できる「ふしぎな部屋」はとくに子どもたちに人気で、「すごくおもしろい!」「これどうなってるの!?!」と歓声を上げる様子も見られます。

このほかにも、イスが揺れて映像が

教室では、恐竜の脚の骨格モデルを組み立てながら恐竜の進化について考えたり、ガラスの性質を学びながらアクセサリーにもなるようなトンボ玉作りをしたり、パソコン教室ではプログラミングを学び、作成したプログラムでロボットを動かすという、大人でも楽しめるような講座がこれまで数多く開かれました。5月29日には、「レアメタルの結晶を作ろう」という希少金属を使用する科学教室が開催予定です。それ以外にも、春休みや夏休み、冬休みやゴールデンウィークなどには気軽に参加できるさまざまなイベントも開催されています。サイエンスフェス

夕は、科学に触れながらいろいろなものを工作するワークショップで、配布販売する予約チケットがすぐになくなってしまふほどの人気です。春休み時には、電子レンジを使った押し花作りや、太陽の光で色が変わるふしぎな紫外線チェックストラップ、スーパードールで飛び出すロケットなどのワークショップが開催され、子どもから大人まで楽しみながら参加している様子が見られました。

みどり豊かな平和公園

外で過ごすのが気持ちのいいこれからの季節、教育科学館を訪れる際には少し足をのばして、近接する平和公園も合わせて訪れるのもおすすめです。

教育科学館のすぐ近くに広がるこの公園は、旧東京教育大学（現筑波大学）の寄宿舎の跡地に、板橋区が平和都市宣言を行ったことにちなみ「板橋区平和公園」として昭和61年に開園しました。約2万平方メートルの広さを誇る園内には、大きな広場のほか、へいわの文字をかたどった形の池や、ケヤキやイチヨウなどの木々が茂ります。また、50本を超える桜の木があり、春

教育科学館からすぐのところにある板橋区平和公園（所在地：板橋区常盤台4-3）。木々が青々と茂るこれからの季節、木陰が気持ちいい



には桜の名所として桜まつりが行われ、訪れる人でにぎわいます。この時期は、池には桜の花びらが水面にっばいに広がり、とてもきれいです。公園の一部では事前予約のうえバーベキューの利用もできるので、みどりやさわやかな新緑の季節、憩いのひとときを過ごすのもよいでしょう。5月を過ぎると池には鴨が訪れ、穏やかな雰囲気。近辺には地元で愛され親しまれている総菜やお菓子などをお店、板橋のいっぴんもがあるので、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。